

「電池が支える地域社会の未来のかたち」

【概要】

低炭素社会実現に向けて、高性能二次電池を用いた環境先進車両や自然エネルギー発電電力貯蔵システムの開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。

本シンポジウムでは、車載用・定置用それぞれの用途に合わせて設計された高性能二次電池の開発・応用状況、二次電池に蓄えられた電力を家庭・町で有効活用する仕組み、それらを地域社会で組み合わせるスマートコミュニティを形成する取り組み事例について、これら分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きます。

- 日時： 平成27年12月3日（木）13:30～16:20
- 場所： 豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101
(地図：<http://www.tut.ac.jp/about/campusmap.html>)
- 主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
- 後援（予定）：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会
- 協賛（予定）：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE 名古屋支部、自動車技術会

時間	プログラム	講演者
13:30 ～13:35	開会挨拶	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授（兼） 未来ビークルシティリサーチセンター長 大平 孝
13:35 ～14:25	【講演1】 『車載用および定置用蓄電システム向けチタン酸リチウム負極系リチウムイオン電池の実用化と展望』	東芝（株） 研究開発センター 首席技監 高見 則雄 氏
14:25 ～14:35	休憩	
14:35 ～15:25	【講演2】 『積水化学が進めるV2Hおよび家庭・町のエネルギーマネジメント』	積水化学工業 R&D センター 開発推進センター EMS グループ 参事 梅岡 尚 氏
15:25 ～16:15	【講演3】 『豊田市が進める低炭素社会づくりーミライのフューを指そうー』	豊田市 企画政策部 環境モデル都市推進課 主幹 酒井 斉 氏
16:15 ～16:20	閉会挨拶	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

- 参加費： 無料
- 参加申込〆切： 平成27年11月26日（木）
- 申込方法： 氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX にて下記まで。
- 申込先： 豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
E-mail: rcfvc@office.tut.ac.jp , Tel. : 0532-44-6574 , FAX: 0532-44-6568
- 世話人・問合せ先： 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司
E-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp , Tel./FAX: 0532-44-6722